

公開シンポジウム「サイエンスアゴラ 2018 内セッション
『超スマート社会と SDGs』」の開催について

1. 主 催：日本学術会議科学と社会委員会市民と科学の対話分科会
2. 日 時：平成 30 年 11 月 11 日（日）時間未定
3. 場 所：テレコムセンタービル
4. 分科会等の開催：未定
5. 開催趣旨：日本学術会議が後援を行うサイエンスアゴラ 2018 において、以下の主催セッションを提供する。
 - ・現在北九州で行われている Society5.0 の実証実験に、SDGs の理念がどのように取り入れられるかを紹介し、Society5.0 が目指す超スマート社会を持続可能性の観点からどのように評価するか、超スマート社会に関わる多様なステークホルダーの意見をどのように計画に取り込むか、どのような社会を目指したいかなどの問題を参加者と一緒に考える。
6. 次 第：
 1. 開会挨拶（趣旨説明） 遠藤薫（日本学術会議第一部会員、学習院大学法学部教授）
 2. 話題提供
 - 松永守央（公益財団法人北九州産業学術推進機構理事長、前北九州工業大学学長）
 - 舩橋誠寿（特定非営利活動法人横断型基幹科学技術研究団体連合副会長）
 - 藤田壮（社会環境システム研究センター長）
 - 遠藤薫（日本学術会議第一部会員、学習院大学法学部教授）ファシリテータ兼務
 3. ディスカッション
 4. 閉会挨拶 江守正多（日本学術会議連携会員、国立環境研究所地球環境研究センター副研究センター長）